令和７年度　不安への対処力を養う「勇者の旅」プログラム実践校　募集要項

令和　６年　１２月　１８日
千葉大学子どものこころの発達教育研究センター長決定

１　趣旨

令和５年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によれば、不登校の児童生徒数は年々増加しており、小・中学生の３．７２％（前年度は３．１７％）にのぼっております。また、令和４年度の同調査では、「不登校の要因」の主たるものとして「無気力・不安」が最も大きな割合を占めております（小・中合計５１．８％）。千葉大学子どものこころの発達教育研究センターでは、「不安」への対処力向上を目的として学校の授業で行う「勇者の旅」プログラムを開発し、効果検証および普及に向けた取り組みを行ってまいりました。令和７年度も引き続き、実践校におけるプログラムの定着化および地域の拠点校づくりを目指したいと考えております。また、全国のより多くの学校で、新たにプログラムが実践されることも期待しております。

実践校は、事前・事後のアンケート調査実施により、児童生徒の「不安」の状態や変化を把握するとともに、千葉大学へのアンケートデータの提供にもご協力いただきます。

なお、新規実践校の実践教員に対しては、夏休み期間等に、大学教員による指導法等の研修（以下：指導者養成研修）が開催される予定です。

２　「勇者の旅」プログラムについて

・小学生版の「勇者の旅」プログラムは、８＋２時間扱い（４５分の授業×１０回）です。
　ただし、９、１０時間目は、朝の学活等での実施も可能です。
・中高生版の「勇者の旅」プログラムは、８＋１時間扱い（４５～５０分の授業×９回）です。
　ただし、９時間目は、朝の学活等での実施も可能です。
・プログラムは、学活、総合的な学習の時間、保健、道徳等の時間に実施いただきます。
・指導者は、指導案およびワークブック（児童生徒用教材）を使って授業を行います。
・指導者は、当該学級の担任を基本とし、養護教諭等、校内の教員による TT が可能です。
　（T1 の指導者は、指導者養成研修の事前受講が必要となります。）
・プログラムおよびアンケートは、原則として令和７年度中の実施をお願いします。
　年度内の実施が難しい場合には、実施時期や実施期間について大学と相談できますので、応募票にその旨ご記載ください。

３　募集対象

（１）小・中学校　　計５０校程度（令和６年度実践校の継続応募を含む）

（２）プログラム実践学年　　小学校５年生または６年生（学校の希望による）
　　中学校１年生または２年生（　　〃　　）

※上記のうち、プログラムを実施しない学年（対照群）には、原則としてアンケート調査のみ実施いただきます（例：６年生がプログラム実施の場合、５年生はアンケートのみ実施。５年生がプログラム実施の場合、６年生または４年生でアンケートのみ実施。）

（３）協力期間　　１年間

４　応募方法

・令和７年３月１４日（金）までに、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターまで応募票を提出してください。

・応募校多数の場合は、調整の上決定します。

５　実践校の協力内容

（１）Web アンケートの準備と実施

・児童生徒のメンタルヘルスの状態把握、およびプログラムの効果測定のため、Web アンケートの準備と実施をお願いいたします。

・アンケートは、google フォームを用いて、パソコンやタブレットより直接回答・送信いただきます。

・児童生徒のアンケートの実施時期は、①プログラム開始直前、②プログラム終了直後、③終了３ヶ月後の計３回、教員のアンケートは計２回の予定です。

※３回分の児童生徒アンケートデータを提出した学校には、後日、千葉大学より集計結果がフィードバックされます。

（２）指導者養成研修未受講者への対応

・指導者養成研修未受講者には、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターが主催する指導者養成研修を受講していただきます。

・研修は、千葉大学の教員が講師となり、週末または夏季・冬季休業中に、オンラインで開催予定です（実践校教員の参加費は無料です）。

（３）各校における職員研修の開催について（継続校向け）

・令和６年度までにプログラムを実践したことのある学校では、授業実践にあたった教諭がファシリテーターとなることで、各校にて職員研修（計６時間）を開催することが可能です。職員研修開催を希望する場合、応募票の所定欄にその旨ご記入ください。

・職員研修は、千葉大学で作成された視聴覚教材および研修マニュアルを用いて、各校にて都合の良い日時に実施いただきます。

・１日６時間の研修時間確保が難しい場合、２時間×３日に分けて実施することも可能です。

・職員研修受講者には、受講後アンケート（感想等）をご記入いただき、千葉大学へ提出していただきます。

・職員研修を開催する場合、ワークブックの費用負担は発生しませんが、最低１６名の参加者が必要となりますのでご注意ください。

（４）経費

・指導者養成研修の受講料（一人あたり１，０００円）は、実践校の場合には無料となります。

・授業で使用する教材や資料等の各種印刷費用、児童生徒用教材（ワークブック）費、および指導者養成研修の通信費等は、原則として受益者負担になります。

・児童生徒用教材（ワークブック）は、必要部数により単価が異なります。